



国立大学リスクマネジメント情報

2025(令和 7)年2月号

<https://www.janu-s.co.jp/>

特集テーマ

大学のリスクと国大協保険

国立大学が法人化して20年。国大協保険は、法人化に対応するために創設されました。法人化の検討の過程で様々なリスクが浮き彫りとなり、対応する保険がつくられました。

本誌では、大学をとりまくリスクと国大協保険での対応の概要について、しばらくの間、連載して取り上げます。

1. リスクマネジメント、危機管理と保険

個人や企業は、生活や事業活動において、予期せぬ不測の事態に遭遇することがあります。リスクとは、不確実性であり、良くなることも悪くなることも、どちらもあり得ますが、一般的な用法では悪いこと、損失や不利益の意味で用いられます。

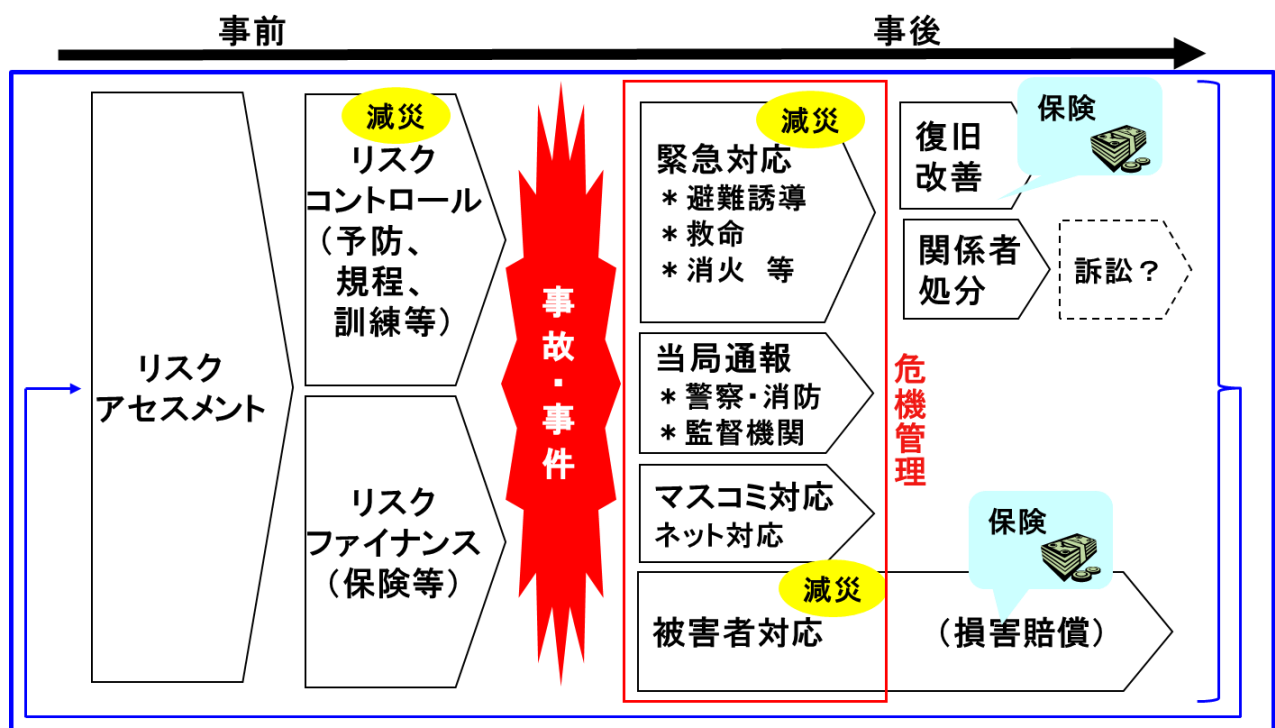
リスクマネジメントとは、リスクを組織的に管理(マネジメント)することで、上記の意味でリスクをとらえれば、損失等の回避又は低減を図るプロセスとなります。

事故・事件といったリスクをめぐるマネジメントのプロセスは、以下のように整理することができます。

事前の対応として、リスクの影響を評価・判断するリスクアセスメント、リスクを減らすための対策をとるリスクコントロール、事故が起きた場合の金銭的な対策を講じるリスクファイナンスがあげられます。

実際に事故・事件が起きた際には、減災のための緊急対応、関係機関への通報、法令や監督官庁への対応、事案によってはマスコミ対応といった危機管理のプロセスを行います。そして損害からの復旧(リカバリー)を行うこととなりますが、被害者がいる場合は、被害者への賠償により復旧を行うこととなります。この被害者への対応が一番難しく、初動での誠実な対応が円満な解決のカギとなります。

損害保険は、リスクファイナンスの手法の一つであり、建物や設備・機器といった財物の復旧や被害者への損害賠償において非常に有効な手段ですが、損害保険に加入したからといって事故・事件を防ぐことはできないため、日頃のリスクコントロールが大切です。その上で、もしもの時に備え、安心して教育・研究活動が行えるよう、保険により十分な対応を講じておくことが求められます。





2. 大学を取り巻くリスク

下の図は、大学のリスクとして考えられるものを整理したものです。
一番右の列に保険での対応を記載していますが、損害保険により多くのリスクに対応できることがわかります。

<大学を取り巻くリスクの例>

区分	例	損害	遵守法令	社会評価	保険対応
政策リスク	交付金、補助金の配分 大学改革	(+)(-)			
経営リスク	大学統合、学部学科等創設 資産運用	(+)(-)	一部あり	影響大	
財務リスク	資金運用	(+)(-)	一部あり	影響大	
災害リスク	地震、雨、風、雪等	(-)	一部あり	影響小	可能
事故リスク	火災 施設に起因する事故 実習、実験中の事故 労働災害	(-)	一部あり	影響大	可能
事件リスク	個人情報漏えい 情報セキュリティ ハラスメント 教職員・学生の不祥事 知財関連トラブル	(-)	基本あり	影響大	一部可能
労務リスク	雇用関係トラブル メンタル関係トラブル	(-)	一部あり	影響大	極一部可能

3. 国立大学の法人化と保険の必要性

2004(平成 16)年の国立大学の法人化に向けて、国立大学協会では必要な損害保険と最も合理的な手配の方法の検討が進められました。

そして出来上がったのが国立大学法人総合損害保険(国大協保険)です。損害保険により対応が可能な大学のリスクをパッケージ化して提供し、それぞれの大学はそのニーズに応じて選択して加入することができます。

国立大学協会が契約者となる団体保険の方式をとることにより、事務手続きの簡素化、スケールメリットによる保険料の低廉化を実現しました。

特殊なものを除き、大学に必要な保険で団体保険化できるもののほとんどを網羅しています。

○ 特徴1 (画期的なパッケージ化)

国大協保険は、国立大学に共通に必要な保険種目を財産保険(火災保険)とその特約としてまとめた画期的な構成(メニュー1)。さらに保健管理センターを対象とした診療所賠償責任保険(メニュー2)、役員傷害保険(メニュー3)、ヨット・モーターボート総合保険(メニュー4)<H18 年度～>を加え、全体としてパッケージ化して提供。

○ 特徴2 (事務ロードの大幅な軽減)

パッケージ化による事務作業の軽減と併せ、保険手配に必要なリスクの分析、財産データの整理等の事務作業を、文部科学省提供データとモデル校のリスクサーベイにより全大学に適用できる枠組みとして構築し、大幅な事務ロードの軽減を実現。

○ 特徴3 (低廉な保険料)

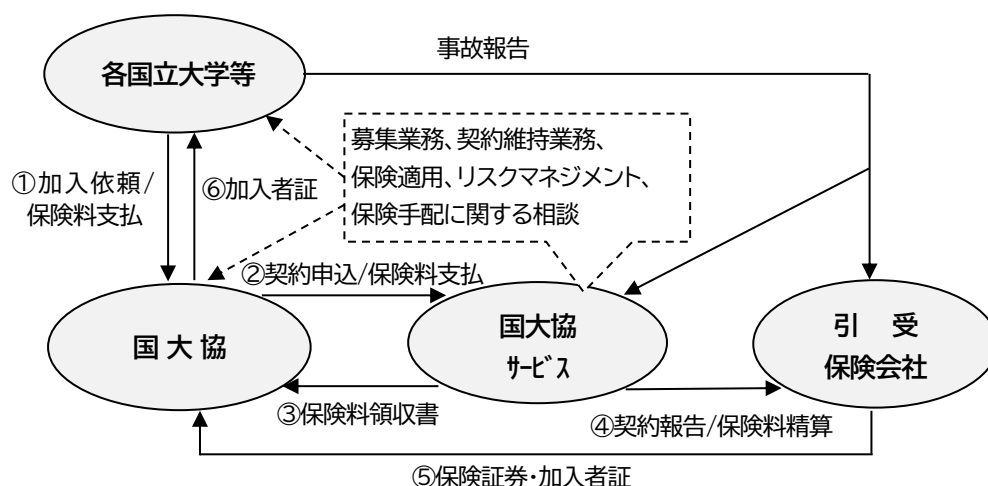
事務ロードの軽減はコストの削減を可能とし、国立大学全体を母集団とすることによるスケールメリットと併せて、低廉な保険料を実現。



4. 国大協保険の契約・運営形態

国大協保険は、創設以来、国大協の全ての会員校が加入して運営されています。

弊社：国大協サービスは、国大協保険を引き受ける損害保険会社の代理店として募集、契約維持、保険適用支払の相談、リスクマネジメント助言等の業務を行っています。



参考：国大協サービス HP(<https://www.janu-s.co.jp/>)

5. 国大協保険の概要

(1)メニュー1

国大協保険メニュー1は、一般の火災保険である財産保険(基本補償)に賠償系、労災系、費用系の17の特約を付帯して一つの保険契約にまとめたもので、国立大学の基本的なリスクをカバーしています。国立大学の建物や設備・装置の財産を補償対象とするため、損害保険4社による共同保険の形態をとっており、主幹事社は三井住友海上火災保険㈱です。

<補償対象となる財産>

メニュー1の財産保険(基本補償)とオールリスク特約の補償対象となる財産は、各法人が所有し帳簿等で管理する建物の全て、取得価額原則50万円以上の動産、その他申告した屋外設備や他人所有物などの明記物件です。

(2)メニュー2 診療所賠償責任保険

国大協保険メニュー2は、大学の保険管理センターにおける医療行為・施設管理に起因して大学が負う法律上の賠償責任を補償する保険です。引受保険会社は東京海上日動火災保険㈱です。

(3)メニュー3 傷害保険(役員)

国大協保険メニュー3は、政府労災の対象となっていない学長・役員等のケガを補償する傷害保険です。引受保険会社は損害保険ジャパン(株)です。

(4)メニュー4 ヨット・モーターボート総合保険

国大協保険メニュー4は、大学が所有するヨット・モーターボートの使用に係る賠償事故や船体事故を補償する保険です。引受保険会社は損害保険ジャパン(株)です。



国大協保険の構成

メニュー1

4社共同引受：三井住友海上火災保険（主幹事）、損害保険ジャパン（副幹事）、あいおいニッセイ同和損害保険、東京海上日動火災保険

財産保険（基本補償）

※必須加入 火災、落雷、破裂・爆発、風災・ひょう災・雪災による損害を補償

特約（オールリスク、情報メディア損害補償、業務補償）

水災、落下・衝突、水濡れ、盗難、電氣的・機械的事故、破損・汚損による損害を補償

総合賠償責任保険（特約）

特約（追加被保険者、受託物損壊補償、施設被災者対応費用補償、インターネット賠償責任補償、海外活動賠償責任補償、借家人賠償責任補償、個人情報漏えい等賠償責任・費用損害補償、学校専門賠償責任補償）

労働災害総合保険（特約）

特約（海外危険補償、使用者賠償責任）

費用利益保険特約

国際交流活動対応費用補償特約

メニュー2 診療所賠償責任保険

引受：東京海上日動火災保険

※附属病院における医師賠償責任保険及び医療施設賠償責任保険は、国立大学病院長会議が国立大学病院損害賠償責任保険（病院長会議保険）として団体保険契約を行っています。

メニュー3 傷害保険（役員）

引受：損害保険ジャパン

メニュー4 ヨット・モーターボート総合保険

引受：損害保険ジャパン

6. 国立大学に関連する損害保険の分類

国大協保険は、大学が加入する保険として広範なリスクをカバーしていますが、大学では、このほかに学生教育研究災害傷害保険(学研災)等の学生が加入する保険があります。

国立大学に関連する損害保険の分類

		大学が加入	学生が加入
損害保険	財産保険（モノ保険）	国大協保険メニュー1 （財産保険基本、オールリスク特約、情報メディア特約） 国大協保険メニュー4（ヨット・モーターボート総合保険・船体保険）	学研災付帯学生生活総合保険 （生活用財産） 大学生協学生総合共済 （火災共済(家財)） 学研災付帯海外留学保険（携行品）
	賠償責任保険	国大協保険メニュー1（総合賠償責任保険、海外活動賠償特約、インターネット賠償特約、個人情報等賠償特約、受託物損壊特約、学校専門賠償特約、追加被保険者特約、借家人賠償特約、使用者賠償特約） 国大協保険メニュー2（診療所賠償責任保険） 国大協保険メニュー4（ヨット・モーターボート総合保険・賠償責任） 国立大学病院損害賠償責任保険	学研災付帯賠償責任保険 学研災付帯学生生活総合保険 （賠償責任・借家人賠償責任） 学研災付帯海外留学保険（賠償） 大学生協学生賠償責任保険 大学生協学生総合共済 （火災共済(借家人賠償)） スポーツ安全保険（賠償）
	費用保険	国大協保険メニュー1（業務補償特約、個人情報費用特約、施設被災者対応特約、労災総合保険、海外危険特約、国際交流対応費用特約） 国大協保険メニュー4（ヨット・モーターボート総合保険・捜索費用）	学研災付帯学生生活総合保険 （療養費用） 学研災付帯海外留学保険 （治療費用、救援者費用）
定額保険	傷害保険（ヒト保険）	国大協保険メニュー3（傷害保険(役員)） 国大協保険メニュー4 （ヨット・モーターボート総合保険・搭乗者傷害）	学生教育研究災害傷害保険 （略称：「学研災」） 学研災付帯海外留学保険 （傷害・疾病死亡、後遺障害） 大学生協学生総合共済（生命共済） スポーツ安全保険（傷害）



<火災防止チェックリストを使ってください!!>

研究室、事務室における火災防止のための基本的な項目をエクセルのチェックリストにしました。

添付の解説書を読むことでなぜチェックが必要か理解できます。

大学の火災事故が増えています!! 点検を行ってください!!

入手はこちら ⇒ https://www.janu-s.co.jp/fire_accident.html



2025. 1 月

大学リスクマネジメント News PickUp

<Web から大学（国立以外含む）関連ニュースを検索>

<大学の管理・経営>

1. 7 非常勤教職員らでつくる労働組合は、〇大学が団体交渉で合意した非常勤講師の時給引き上げ幅を一時的に引き下げたとして8日にストライキを実施すると発表。2024年3月の団体交渉で「時給500円アップの枠を作った」との発言があり合意したが、後日、上げ幅は100円とされた。ストライキは「時給500円アップ」「人事院勧告に準拠した給与」を要求し、非常勤講師の講義中、15分間実施する計画。
1. 13 〇大学の新校舎建設工事を巡り、大学に約1億1700万円を不正に支出させたとして、警視庁は、大学元理事長を背任容疑で逮捕。側近職員を通じて現金約3700万円を還流させ、ブランド品の購入などに充てたとみて、事件の全容解明を進める。元理事長は2018年7月～2020年2月、新校舎2棟の建設工事を巡り、業務実態のない「建築アドバイザー報酬」の名目で、大学から建築士に21回にわたって計約1億1700万円を不正に支出させ、大学に損害を与えた疑い。建築士は19年2月以降、2回にわたり、自身の口座から計約3700万円を出金し、元理事長が直轄した経営総括部の次長だった元職員に現金を渡したという。元職員は、元理事長に現金を渡したことを認めており、警視庁は建築士とともに背任容疑で任意で調べている。警視庁は、元理事長が大学資金の一部を自身に還流させる目的で、名目を作り上げたとみている。
1. 22 〇大学附属義務教育学校は、去年卒業した元生徒が複数の同級生からのいじめを理由に1年間不登校となっていたことを公表。元生徒は不登校となる1か月前に修学旅行の農業体験で、同級生が投げた牛糞を混ぜた堆肥が目に入ったものの謝罪の言葉はなかった。このため元生徒は「わざとかけられた」と受け止め、精神的な苦痛を感じるに至ったとし、いじめだと結論付けた。このほか元生徒は、小学生にあたる前期課程時から別の同級生に無視をされたり、舌打ちをされたりしたことで心理的な苦痛を感じていたことも明らかになった。
1. 27 〇大学の前学長が学長職の職務停止命令の無効や慰謝料など損害賠償1100万円の支払いを求めた訴訟の判決で、地裁は、大学法人側が前学長の社会的評価を低下させたとして名誉毀損を認定し、大学を運営する学校法人与理事長らに対して計55万円の支払いを命じた。職務停止命令の無効については、前学長任期が24年3月末までだったことから訴えを却下した。23年春ごろ、次期学長候補の選出を巡って前学長と理事長の間で意見が対立し、その後、学校法人は前学長について「心身の故障」を理由に学長の職務執行を一時停止する命令を出していた。



1. 30 ○大学の非常勤講師8人が勤続5年で無期転換権を認められず、違法な雇止めをされたとして地位確認を求めた訴訟で、地裁は、研究者に当たると判断して請求を棄却した。労働契約法で一般の労働者は5年で無期転換権が発生するが、研究者は大学教員任期法で10年と定められており、非常勤講師はどちらに当たることが争われた。大学が教員の審査基準で「研究上優れた業績を有し、かつ教育上優れた経験を有する研究者・教育者でなければならない」と定め、基準に沿って非常勤講師らを採用した点を重視し、「大学の非常勤講師の中には論文の発表や著書の出版といった研究活動を行う者もいた」などと指摘。非常勤講師らは5年超だった2022年に無期雇用への転換を申し込んだが、大学は非常勤講師らは研究者に当たらないため、無期転換権が発生していないと判断し、カリキュラムの変更などを理由に23年3月に雇止めをしていた。
1. 31 ○大学の非常勤講師4人が無期雇用への転換などを求めた裁判で、地裁は「4人は労働者である教員とは異なり、指揮監督関係にない」などとして労働関係を認めず、訴えを退けた。非常勤講師4人は、短期の契約更新を繰り返し、無期雇用を求めることができる通算5年以上の勤務を超えていたため契約変更を申し出たが、大学は「労働契約ではなく準委任契約だった」として契約変更を拒否し、さらに「雇止め」としていた。

<事件・事故>

1. 6 5日夜、○大学のキャンパスで学食の厨房に置いてあった雑巾が焦げるボヤがあった。警察と消防によると、午後10時20分頃「厨房から火と煙が見える」と大学の警備員から通報があり、消防がポンプ車など12台を出したが警備員が水をかけるなどしていたため、約25分後には、到着した消防によって鎮火が確認された。これにより厨房にあったプラスチック容器が融け、その下にあった雑巾が焦げたものの、ケガをした人はいなかった。学食に従業員は、年明け最初の営業日である6日に向けて5日午前に寸胴鍋で仕込み作業をしていたということで、警察は、従業員がIHクッキングヒーターの電源を切り忘れたことで中身が蒸発して鍋が熱くなり、近くににあったプラスチック容器が融けた可能性があるとして、調べを進めている。
1. 14 横断歩道を自転車で乗って渡っていた中学生が、走行してきた○大学の送迎バスにはねられる事故があった。中学生は転倒し右足を骨折する重傷。送迎バスには運転手や大学生などおよそ30人が乗っていたが、ケガはなかった。現場は、片側1車線のゆるやかなカーブで信号機はなかった。
1. 16 ウインドサーフィンの練習していた○大学の学生が戻ってこないと警察に通報があった。およそ3時間後に学生が琵琶湖岸で見つかり、意識不明の状態で病院に搬送されたが、死亡が確認された。学生は仲間の学生4人と沖合100メートル以内の地点で練習していたが、他の学生が岸に戻る頃になっても帰って来ず、やがて「道具が壊れた」などと仲間の1人に電話があった。警察と消防が学生の捜索に当たっていたが、午後8時過ぎ、湖岸で学生が打ち上げられているのを仲間が見つけたという。
1. 28 ○大学病院で患者が病院の自動精算機の案内をしていた職員と何らかのトラブルになり、職員に対し腕を殴ってケガをさせたとして傷害の疑いで逮捕された。取り調べに対し、患者は「職員の対応に不満があった」という内容の話をしている、容疑を認めている。

<入試等関連>

1. 8 ○大学は、2024年11月に実施した指定校推薦入試で面接官のミスのため、一部の受験生がプレゼンテーション試験を受けられなかったと発表。いったん全員合格としたが、大学は「公平ではなかった」とし、改めてプレゼン試験を実施した。合格取り消しは想定していない。入試は、書類審査と面接に加え、観光やメディアなどをテーマにした約5分のプレゼンで合格判定する予定だった。28人が受験したが、このうち2人についてプレゼンをさせないまま入試を終えた。担当者2人が忘れていたという。
1. 15 ○大学が2024年10月に実施した総合型選抜入試の2次試験で、受験生が決められたテーマに沿って事前に提出したエッセーについてプレゼンテーションし、面接官と英語で質疑応答を行うという試験方式だったが、事務職員と面接官の連携ミスで、面接官が受験生のプレゼンテーションを聞くという受験方式を理解しないまま、聞き忘れたという入試ミスがあった。2次試験には15人が受験。大学は当初出した合格者に加え、11人を追加合格とし、受験した全員合格とする措置をとった。合格発表から10日ほどしたとき、受験生の在籍する高校から大学入試部へ「生徒からプレゼンがなかったと聞いているが実施内容にミスはなかったか」と問い合わせがあり、発覚した。
1. 17 ○大学の1学部で一般選抜入試を中止することがわかった。大学は、学校推薦型などの選抜で入学定員に達したためとしているが、文部科学省は「大学の都合でルール違反と捉えざるを得ない」とし、大学への聞き取り調査を実施する方針。大学入試については、文部科学省が通知するルールで「受験者に不利益を与える恐れがある変更は行わない」と定められている。
1. 18 大学入学共通テスト1日目の滋賀会場で「地理歴史、公民」の試験の際、監督者が試験開始前に受験番号欄などをマークするよう案内するのを失念し、85人が再試験の対象となった。英語のリスニングでは、機器の不具合などのため、43の試験会場で合わせて49人が機器を取り替えてやり直す「再開テスト」の対象となり、46人が受けた。



1. 19 大学入試センターは、大学入学共通テストで4人の不正行為を確認したと発表。対象の受験生は、全教科の成績が無効となる。不正行為のあった4人のうち1人はカンニングで、数学(2)の試験時間中、監督者が机に数学の公式が書き込まれているのを確認した。別の1人は、英語リスニングの試験時間に「解答はじめ」の指示の前にICプレイヤーを再生し、解答していた。ほかの2人は、いずれも「解答やめ」の指示があったのに従わなかった。
1. 23 ○大学は、大学共通テストの英語リスニング試験で、監督者が受験生と口頭でやり取りし、静穏な環境が維持できなかったとして受験生34人が再試験の対象となったと発表。全員、再試験を希望しなかった。試験問題を再生するICプレイヤーを誤って床に落とした受験生1人に対し、監督者が小声で対応した。翌日、別の受験生の保護者から監督者の足音や声で試験問題の一部が聞き取れなかったと連絡があった。大学は大学入試センターと協議し、再試験を決めた。プレイヤーを落とした受験生は音声が出なくなったため、その日に再開テストした。
1. 28 ○大学を会場に実施された大学共通テストで、受験生の男子生徒が試験中に腹痛で多目的トイレの個室に入った際、監督者が個室に立ち入っていたことがわかった。大学は「不適切だった。受験生に嫌な思いをさせて申し訳ない」と謝罪している。生徒は、抗議すれば試験に不利になるかもしれないと思い、仕方なく監督者が同室する状態で用を足したという。大学の聞き取りに対し、監督者は「不正防止の意図で入った」という趣旨の説明をしている。大学入試センターによると、試験中のトイレに際しては、不正防止のため監督者がトイレの入り口まで付き添うようにマニュアルで定めている。
1. 31 ○大学は、一般入試の「化学」に出題ミスがあったと発表。出題文の記述が明確ではなく、正答を導き出せない可能性があった。試験中に受験生から出題文について質問があり、学内で確認して判明した。設問の1問は全員正解とし、合格発表前で合否に影響はない。

<情報セキュリティ>

1. 28 ○大学は、教職員2名、学生1名のメールアドレスがフィッシングによる不正アクセスを受け、426件のフィッシングメール配信に悪用されたと発表。不正アクセス先は主にメール配信サーバーであり、他サービスのデータをダウンロードするなどの情報漏えいに繋がる証拠は確認されていない。
1. 30 ○大学は、利用する「TechFUL」での個人情報流出について2018年10月から2023年8月までにサービスを利用した学生(卒業生を含む)の個人情報が漏えいした可能性があると発表。「TechFUL」はプログラミング能力の測定や学習が行えるサービスで、サービスを提供する444株式会社では2024年12月25日に「TechFUL」のサーバーに不正アクセスがあり、個人情報と重要情報の流出が疑われる事象が判明した旨を公表していた。

<ハラスメント>

1. 14 ○大学の元研究員の女性が4年前、上司で研究室長の教授から体を触られるなどのセクハラを受け、警察に被害を相談すると、女性に対し契約を終了する趣旨の話をしたということで、女性は別の大学に移らざるを得なくなったとして、大学とこの教授らに合わせておよそ4700万円の賠償を求めている裁判が始まり、大学側は訴えを退けるよう求め争う姿勢を示した。大学はおとし教授の行為の一部について、ハラスメントにあたると認定している。
1. 24 ○大学は、教員が部下にあたる教員に対して、教員やその家族の人格を否定するような言動を繰り返し行ったり、ほかの大学の関係者に教員を悪く印象づけるようなパワハラ行為を行ったとして停職5日の懲戒処分とした。さらに複数回にわたり必要な説明を行わず、部下にあたる教員の名前を論文の共著者から外すなど研究者としての人格を傷つけた。大学は、被害を受けた教員から相談を受けて事実関係を確認した結果、これらの行為がパワハラにあたるとして懲戒処分とした。
1. 29 ○大学の外国籍の元准教授が大学に在学中、複数の幹部から「人格を否定されるような民族的な差別」を受けたほか「教員の働きを否定される発言」をされるなどパワーハラスメント行為を受けたと訴えていることがわかった。大学は2024年5月、外部の有識者を交えた調査委員会を設置。調査委員会は、大学幹部2人のハラスメント行為を認める報告書を大学側に提出した。
1. 31 ○大学の准教授が停職2カ月の懲戒処分。2022年3月、同僚を誹謗中傷する内容のメールを同僚や関係者に送信したり、誹謗中傷する内容をSNSに投稿。また、イベント参加代として必要のない金銭を要求するハラスメント行為を行った。



<学生・教職員の不祥事>

1. 1 ○大学の学生が首相らが出席して行われた能登半島地震と奥能登豪雨の犠牲者追悼式の会場近くの空港駐車場で、正当の理由なく果物ナイフ1本(刃渡り約10センチ)を所持したとして銃刀法違反容疑で現行犯逮捕。追悼式の会場付近で警備に当たっていた警察官が不審な動きをしていた学生に職務質問したところ、手提げかばんから果物ナイフのほか、カッターナイフや折り畳み式ののこぎりが見つかった。
1. 8 ○大学付属病院の看護師が患者への不適切な医療行為について2023年からSNSに投稿していた問題が明らかになった。SNSのアカウントには「某大学病院、腸外科のあの医者、死ぬ」という趣旨の投稿もあったという。病院は投稿の内容を確認し、不適切な医療行為があったかについて、全ての診療科を対象に事実確認を行うなどの内部調査を進めている。
1. 8 ○大学の学生が2024年10月、路上で現金7000円が入ったカバンを80代の女性からひったくった上、女性を転倒させてケガをさせた疑いで逮捕。学生は、屋間に1人で歩いていた女性を尾行した上で、追い抜きざまに犯行に及びその後、走って逃げたとみられている。市内では2024年10月から11月頃にかけて、同様の手口による被害がほかにも4件あり、警察は学生が関与しているとみて調べている。
1. 10 ○大学的女子学生がキャンパスの教室で複数の学生の頭や体をハンマーで殴り、8人にケガをさせたとして傷害の疑いで逮捕。8人は、いずれも意識はあり、会話ができる状態だという。当時は授業中で、女子学生は警察の調べに対し「グループから無視されてうっぴんがたまり、学校にあったハンマーで殴った」などと供述している。警察が詳しいいきさつを調べている。
1. 16 ○大学の学生が自宅で大麻若干量を所持していたとして麻薬及び向精神薬取締法違反の疑いで逮捕。警察は、どこから大麻を入手したかなどについて捜査している。
1. 19 ○大学の教授が工場跡地に無断で侵入したとして現行犯逮捕。防犯カメラの画像からこれまでも工場跡地に侵入する人の姿が確認されており、警察は現場を張り込んでいた。
1. 22 性別適合手術を受けていないトランスジェンダーの女子トイレ使用などを巡り、女性専用スペースの確保・保護を目的に活動する団体が、X(旧ツイッター)に「悪質差別団体」と投稿されたとして、○大学の非常勤講師に慰謝料約55万円の支払いなどを求めた訴訟の控訴審判決で、高裁は請求を破棄した一審判決を変更し、10万円の支払いと投稿削除を命じた。
1. 28 ○大学病院の看護師の女性が、県外でSNSで知り合った当時15歳の少年を保護者に無断でホテルに連れ出し、性的暴行を加えるなどしたとして不同意性交等やわいせつ誘拐などの疑いで逮捕。警察は少年の親から届け出を受け、SNSのやりとりなどの捜査を進め、逮捕した。

海外三二情報

※ WEB 上の海外ニュースから海外の大学の動向をピックアップ

<米:相次ぐ大統領令に揺れる連邦政府の研究助成>

アメリカでは、トランプ大統領による相次ぐ大統領令を受けて、国立衛生研究所 NIH(年間助成金 490 億ドル)や国立科学財団 NSF(年間助成金 100 億ドル)など連邦政府の中心的研究助成機関が大きな方針転換を迫られ、混乱が生じています。

トランプ大統領は就任直後、保健福祉省と NIH など傘下の機関に対し、ガイダンス文書やグラントの発表などの一般向けのコミュニケーションを行うことを2月初めまで禁止し、NIH の関わる会議や出張・講演が突然キャンセルされるなどの事態となりました。

また、1月末には連邦政府のすべての研究グラントが一時凍結され、今後は DEI(多様・公平・包摂)などの大統領令で禁じられた目的につながる研究への助成は禁止するとの方針が示されたため、NSF などではグラント再開に向けて申請書中に DEI やジェンダーなどに関連する文言が含まれていないかのチェックに追われています。2/21 には連邦地裁が、DEI を禁止する大統領令は意味が曖昧で恣意的な運用の恐れがあり言論の自由を侵害するとして差し止めを命じましたが、DEI に関する政府の基本方針は変わらないものとみられています。大学では既に 36 州の 252 キャンパスにおいて DEI 関連の組織の廃止等が行われているとのことです。

さらに、2/7 には連邦政府の効率化の一環として、NIH のグラントにおける間接経費の割合を現在の平均 30%から上限 15%とし、年間 60 億ドルを削減するとの方針が発表されました。効率化を主導するイーロン・マスク氏はX上で、大学によっては 60%もオーバーヘッドで取っており、何というばつくりだと投稿しています。これに対しアメリカ医科大学協会 AAMC やアメリカ教育評議会 ACE は、間接経費は研究者の研究インフラの確保に不可欠だと反論して提訴し、連邦地裁は差し止めを命じています。



全米の最大の大学団体である ACE の Ted Mitchell 会長は 2/12-13 にワシントンで開催された総会において、一連の動きは大学に対する攻撃であるとし、大学が連帯して戦う姿勢を強調する一方、政府と協力できる何らかの一致点を見出す努力を継続するとも述べています。

<https://www.timeshighereducation.com/news/trumps-freeze-nih-grant-approval-meetings-condemned>
<https://www.insidehighered.com/news/government/politics-elections/2025/01/29/grant-reviews-nsf-and-nih-still-paused>
<https://www.chronicle.com/article/judge-temporarily-blocks-trumps-anti-dei-orders>
<https://www.bbc.com/news/articles/c15zypvgxz5o>
<https://www.chronicle.com/article/judge-issues-nationwide-halt-to-controversial-cap-on-nih-funding>
<https://www.insidehighered.com/news/government/politics-elections/2025/02/14/ace-strikes-fighting-stance-annual-conference>

<独:マックスプランク研究所がアメリカの研究者を積極的に招致>

マックスプランク研究所の Patrick Cramer 所長は、アメリカの NIH 等における研究グラントの凍結や見直しの状況を背景に、特に環境、ジェンダー、感染症などに関するアメリカの優れた研究者を同研究所が積極的に受け入れるとの姿勢を表明し、既に同研究所の研究リーダーポストへのアメリカからの応募は昨年より倍増していると述べています。また、アメリカの動向については学問の自由の明確な侵害であると批判しています。

<https://www.universityworldnews.com/post.php?story=20250221121216853>

<豪:大学のセクシュアル・ハラスメント抑止のためのオンブズマンの設立>

オーストラリア大学協会 UA の研究センターの調査によれば、大学生の 5% が性的暴行の被害を受け、1/6 がセクシュアル・ハラスメントの被害を受けたことがあるとのこと。また、それを公に申し立てたのは被害者のわずか 1/30 にとどまるとのことです。

そうした中で、政府はこのたび新たに国立学生オンブズマン NSO を設立し、学生が性的暴行や人種差別等について直接申し立てを行うことができるようにしました。新組織には 40 名の専任スタッフが置かれ 7 月には 60 名まで増員されとのこと。新組織の代表は、我々は大学からも政府からも独立して公正な審査を行うと述べています。

教育大臣は、今後大学がキャンパスにおける性的暴行を抑止するためのエビデンスに基づく措置を講ずるとともに、定期的に理事会に報告することや教職員・学生に対する教育・研修を行うことを求めています。

<https://www.universityworldnews.com/post.php?story=20250221103854297>

<大学マネジメントに役に立つ！>

情報誌合冊版 国立大学リスクマネジメント情報 2014.12-2021.12



<目次>

- I. ニュースから見た大学のリスク
- II. 国立大学と損害保険
- III. 国立大学リスクマネジメント情報

一冊 2,000 円(消費税込) 送料別

弊社 HP からお求めください。<https://www.janu-s.co.jp/books.html>

配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。(無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。⇒ <https://www.janu-s.co.jp/>

情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。
⇒ info@janu-s.co.jp

バックナンバー

- 25. 1月 大学事故に関する判例紹介
- (3) 課外クラブ活動に関連した事故に関する判例-
 - 24. 12月 頻発する大学の火災事故
 - 24. 11月 大学でのハラスメント
 - 24. 10月 財産系保険の補償対象財産
 - 24. 9月 事故防止のためのお役立ち情報
 - 24. 8月 火災防止チェックリスト
 - 24. 7月 夏の事故と保険
- ※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス

東京都千代田区神田神保町一丁目 4 1 番地

協力 三井住友海上火災保険株式会社